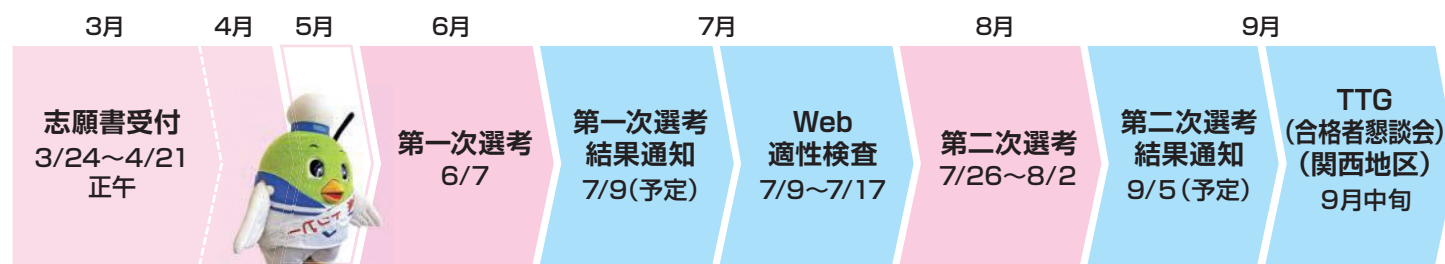


試験の流れ



令和8年度 試験概要

選考の種類	第一次選考	第二次選考	小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭	特別支援学校教諭	養護教諭	栄養教諭	併願可否
一般選考	●一般教養 ●専門試験(筆記試験)		●	●	●	●	●	●	可※1
特別選考	I 障がいのある者を対象とした選考	●一般教養 ●専門試験(筆記試験)	●	●	●	●	●	●	可※1
	II スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考	免除	—	●	●	—	—	—	不可
	III 現職教諭を対象とした選考	免除	●	●	●	●	●	—	不可
	IV 県内公立学校の講師等を対象とした選考	免除	●	●	●	●	●	—	不可
	V 英語力に優れた者を対象とした小学校教諭選考	免除	●	—	—	—	—	—	可※2
	VI 普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考	●一般教養 ●専門試験(筆記試験)		—	●	●	—	—	不可

※1…一部の試験区分については、併願することができません。 ※2…小学校教諭の一般選考へのみ併願が可能です。

★【小学校のみ】第一次選考の専門試験(筆記試験)で傾斜配点を行う数学・理科重視型を実施しています!

※傾斜配点を行わない「標準型」との選択制です。

★英語の一定以上の資格所有者は第一次選考の免除または加点制度があります!

★出願時点で複数免許状所有者は第一次選考の専門試験(筆記試験)に加点できる場合があります!

※普通免許状の種類(専修免許状、一種免許状、二種免許状)は問いませんが、特別免許状及び臨時免許状は除きます。

★特別支援学校教諭を併願試験区分とする場合においては、特別支援学校教諭普通免許状を有していなくても併願可能です。

詳細は実施要項をご覧ください。

令和7年度 教員採用試験の実施状況

試験区分	採用予定数	受験者数	A登載者数	合格倍率
小学校教諭	150	459	204	2.3
中学校教諭	50	270	49	5.5
高等学校教諭	25	193	21	9.2
特別支援学校教諭	25	118	40	2.9
養護教諭	5	110	5	22.0
栄養教諭	2	24	2	12.0
合計	257	1,174	321	3.7

※受験者数=一次試験受験者数+一次試験免除者数-志願試験区分A登載者のため併願試験区分A登載非該当者数



志願者募集!

令和8年度採用 鳥取県公立学校 教員採用試験

とっとり教採アンバサダーによるプロモーション動画公開中!

出願期間 (電子申請のみ)

令和7年 3月24日(月) 正午~ 4月21日(月) 正午

第一次選考試験 小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭

令和7年 6月7日(土) 鳥取・関西の2会場で実施!

実施要項の説明を鳥取県教育委員会公式YouTubeにてオンデマンド配信しています!ぜひご覧ください。

※質問等がございましたら下記問合せ先へご連絡ください。



鳥取県教育委員会 教員採用試験情報



県教委YouTube



県教委X(旧Twitter)



共済(福利厚生)

問合せ先

鳥取県教育委員会事務局 教育人材開発課

〒680-8570 鳥取市東町1丁目271番地
TEL 0857-26-7513

鳥取県の情報

- 人口：529,943人 (令和7年1月1日現在)
- 市町村数：19市町村



● 公立学校数等

	学校数	学級数	児童・生徒数	教員数(本務者)
小学校	111	1,491	26,231	2,263
中学校	51	625	13,296	1,287
義務教育学校	6	72	981	149
高等学校	24	315	10,208	1,095
特別支援学校	8	243	746	610

令和6年度「学校便覧」より

鳥取県公立学校教員として求める教師像

- よりよい社会の実現に向け、自他の価値を尊重し、自らの人間性や創造性を高めていく教師
- 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、学び続けることができる教師
- 児童生徒に対する理解を深め、自発的・主体的な成長や発達を支援することができる教師
- 教科等の専門的知識・技能を有し、児童生徒の主体的な学びを支援することができる教師
- 学校組織の一員として、学校内の多様な人材、家庭や地域、関係機関等と連携・協働を図ることができる教師



鳥取県の教育の特色

国より一歩進んだ少人数学級の導入！

人間関係を築く力の育成、学ぶ意欲の向上、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応など

▶ 全学年への少人数学級導入で、きめ細かい指導を実施し「子育て環境日本一」を実現！

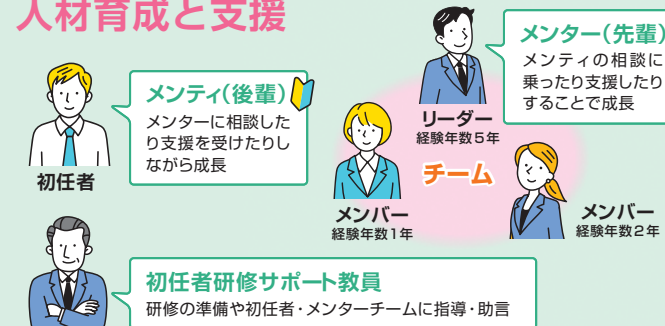
全国初！ 30人学級を小学校全学年で実施

実際の児童数は約18人

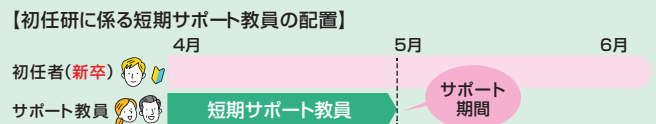
令和7年度完成	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
	30	30	30	30	30	30	33	35	35

【参考】国の基準令和7年度完成	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
	35	35	35	35	35	35	40	40	40

「とっとりメンター方式」による人材育成と支援



「とっとりメンター方式」とは、校内における初任者研修を活用した人材育成システムのこと。初任者と先輩教員、サポート教員がチームを組み、ともに成長していく仕組み。

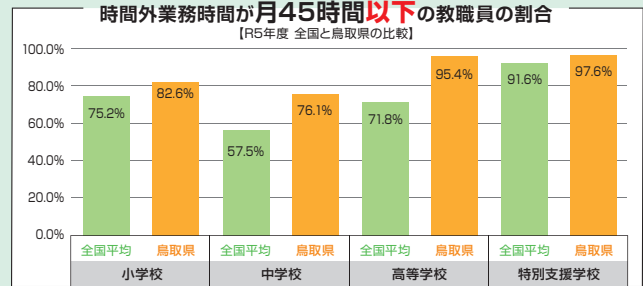


働き方改革を推進しています！

学校業務カイゼンプランの策定

全公立学校を対象とした計画(学校業務カイゼンプラン)を策定し、学校における働き方改革に本気で取り組んでいます！

目標 時間外業務が月45時間、年間360時間を超える長時間勤務者の解消



※文部科学省による令和6年12月公表「令和5年度教育委員会における学校の働き方改革のための取組状況調査」の数値をもとに鳥取県の状況と比較

体験的学習活動等休業日の導入

「体験的学習活動等休業日」とは、家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日のこと。

- 児童生徒が保護者の方等と一緒に体験的な学習活動等に参加することを通じて、心身の健全な発達を一層促進する環境の醸成
- 保護者の有給休暇の取得促進
- 学校休業日の分散化

鳥取県の約85%の市町村立学校の約50%が導入しているよ！

令和7年度の導入例											
4月			5月				11月				
29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	1日	2日	3日	4日
火	水	木	金	土	日	月	火	土	日	月	火
昭和の日	休業日	休業日	休業日	憲法記念日	みどりの日	こどもの日	振替休日	休業日	休業日	文化の日	休業日
8連休							4連休				

“とっとり教採アンバサダー”からのメッセージ

とっとり教採アンバサダーとは??

鳥取県で教員になることの魅力等を志願者目線で情報発信する令和6年度の新規採用教員から選ばれた6名の教員です。



小学校教諭 **ニックネーム** まーたん (県外出身)

私は県外出身のため、新たな土地での生活に不安を抱えながらも、なりたかった教師の夢が叶うという楽しい気持ちをもって4月のスタートを迎えました。毎日様々な出来事が起こり、うまくいかないこともたくさんありますが、少しずつ成長している子どもたちの姿を身近で見て、一緒に喜べるこの仕事にやりがいを感じています。また、鳥取県は少人数学級を実施しているので、一人ひとりと深く関わることができることもよいところだと思っています。美味しい食べ物と豊かな自然に囲まれた鳥取県で、ぜひ一緒に働きましょう！

小学校教諭 **ニックネーム** ナナ (県外出身)

「人と人との繋がり」が鳥取県の最大の魅力だと思います！私はもともと県外に住んでおり、4月から鳥取県に来ました。先生方とは日々の授業や取り組みについて話したり、楽しい雑談もしたりと、あたたかい雰囲気があり、とても居心地良く過ごしています。教員や地域の人の繋がりがあからこそ、エネルギーに溢れる子どもたちと日々共に成長できているように感じます。休日は、海にも山にも恵まれた大自然やとにかく美味しい食べ物に癒され、リフレッシュしています！魅力の詰まった鳥取県で、ぜひ一緒に働きましょう！



中学校教諭 **ニックネーム** なーちゃん (県内出身)

私はもともと教員志望ではなく、食関連の他の職に就こうと思っていました。しかし、教育実習に行ってみて、子どもたちが自分の授業を楽しそうに受けてくれたことが嬉しくて、教員を目指すことにしました。自分が教員としてやっていけるのかという不安はありましたが、温かい先生方に囲まれ、様々なアドバイスをいただきながら、毎日生徒と共に自分も成長できていると思います。四季の移ろいを感じながらおいしいものもたくさん味わえ、すごく充実した休日も過ごすことができているので、地元鳥取県に戻ってきて良かったと思っています。こんな素敵な県でみなさんと一緒に働くことを楽しみにしています！



高等学校教諭 **ニックネーム** そーちゃん (県内出身)

地元である鳥取県で働き、いつか母校でサッカーを教えたい、数学を教えたいと思い教師を目指しました。鳥取県は生徒の数も、教員の数も他県と比べれば少ないと思います。その分、一人ひとりの生徒や教員と深く関わることができるか考え、時に悩むこともありますが、周りの先輩教員が優しく支えてくださり、アドバイスをくれます。人も温かく、また食も美味しく自然豊かな魅力ある鳥取県で、是非一緒に働きませんか。



特別支援学校教諭 **ニックネーム** アンディ (県内出身)

鳥取県は親しみやすい人が多いところが魅力だと感じます。私自身、講師時代は、今の勤務先と違う学校で勤務していましたが、どの職場でもこちらから一歩踏み出せば、すぐに溶け込めるような優しい雰囲気がありました。また、レジャー施設や温泉、美味しいごはん屋さんも多く、休日にリフレッシュできる場所は皆さんが思っている以上にあります！(笑)新しい環境に最初は馴染めるか不安に感じるとはありますが、「鳥取に来てよかった」と思えるような多くの体験や出会いがあなたを待っているはずです！



養護教諭 **ニックネーム** ユウカ (県外出身)

養護教諭は児童生徒全員とまんべんなく関わることができるのが一番の魅力だと思います。子どもならではの発見や想像力に触れるのはワクワクしてとても面白いです。大変なことももちろんありますが、先生方と悩みを共有したり、他校の養護教諭と情報交換したりと、あたたかい雰囲気の中で働くことができます。また、鳥取県は自然が豊かと言われるかもしれませんが、その何がよいのかと正直思っていました。しかし、田舎で自然が多い分、四季を存分に楽しめますし、たまに行く旅行がとても楽しく感じます。ぜひ鳥取県で先生として働いてみてください。鳥取県おすすめです！

